

平成29年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人
たてやま・海辺の鑑定団

1. 事業の成果

- (1) 自然環境保全を直接考える事業として、クリーンアップ全国事務局(JEAN)とパルシステム千葉の協力で、平成29年10月7日(土)館山市沖ノ島にて、調査を視点とした海岸清掃を約140人の地域住民や来訪者の参加を得て実施した。それによって海岸に打ちあがるゴミ(人工物)などのデータを作成し、全国レベルでの情報の共有と、地域における環境保全の啓発を図ることができた。
- (2) 地域住民や来訪者に館山市沖ノ島を中心として、様々な地域資源を活かした自然体験プログラムや体験活動を年間を通じて実施し受入を行なった。沖ノ島での自然体験プログラム実施においては、プログラムの定期開催を継続し、館山市観光協会、館山体験交流協会、宿泊施設等と連携・協力連携し10月の台風の影響は否めないが約50人の方々が参加し、地域振興と魅力作りに寄与した。
- (3) 館山体験交流協会やNPO法人千葉自然学校など協力し、南房総・館山に来訪する学習旅行や修学旅行の小中高生や各種団体に対して館山市沖ノ島を中心とした自然体験を通じた学習プログラムを実施した。約2,900人の子どもたちなどに自然の大切さや環境保全に対する啓発を行った。
- (4) 自然環境を考えるきっかけとして、館山市沖ノ島を中心とした北限域のサンゴの観察会(スノーケリング体験)を7・8月に実施し、約700人の地域住民や来訪者が参加した。
- (5) 釣りを通じた、地域資源開発と環境教育の一環として、釣り体験・釣り教室・釣り大会を、館山周辺の海辺や「館山夕日桟橋」を活用し、主に4. 5.6. 月と9.10. 11月に実施した。地域住民や来訪者が約50人が参加した。
- (6) 自然体験を通じた環境啓発活動として、館山市「沖ノ島探検隊」を館山市中央公民館と協力して6月26日と8月24日に実施し延べ約40人が参加し、地域の魅力を通じた学習を行った。
- (7) エコツーリズムの実践と環境教育の一環として、館山市香地区にて、地域資源を活用したガイドウォーキング・自然観察・ビーチコーミング・食体験を、2月に実施し、地域の子供たちを中心に、4人が参加した。継続的な地域資源の活用を行った。
- (8) 人材育成として、沖ノ島・大房岬・大房岬自然の家をフィールドとして、「海辺の達人養成講座in南房総・館山」を1月に開催し、地域住民など10名が参加した。
- (9) 地域の資源である自然環境の魅力の再認識と環境啓発のためのガイドブックを約600部を地域の書店や、観光施設、青少年教育施設、自主事業を通じて活用した。
- (10) 独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」の助成を受け、「南房総館山沖ノ島の海辺を「守り」「伝える」ための仕組みづくりによる環境保全・再生の普及啓発活動と実践活動」を行った。
 ■仕組みづくり:官民連携の「沖ノ島について考える検討会議」を、年6回開催し「仕組みづくり」の必要性を確認、沖ノ島の持続可能な仕組みについて具体提案を行った。
 ・館山市の沖ノ島環境保全協力金業務に協力した。
 ・京丹後市琴引き浜に先進地視察を4名で行った。アマモサミット伊勢志摩への視察を1名で行った。
 ■普及啓発活動:啓発の為にリーフレットを継続活用した。
 ・夏季はビジターセンター設置と、アマモ場再生見学体験を14回開催し(70人参加)啓発活動に努めた。
 ■実践活動:沖ノ島アマモ場再生計画を実行に移した。4月に住民向け説明会(70人参加)、5月～6月に花枝採集し熟成(約3100本)、9月に種選別会(3万粒)、11月に苗床づくり会(2万粒、プランター100個)、12月に種直播(1万粒)。育苗中の苗は約3000株。いずれも住民と地域の小学校が参加する形で進めることが出来た。
 ※平成29年10月22日の台風21号により、館山市の沿岸はもとより、沖ノ島周辺も高潮で被災、平成30年3月30日までの復旧期間は、一般の立入が制限され、当方の主なフィールドである沖ノ島での活動が出来なかった。水産資源の活用プログラムなど予定していた活動に影響があった。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
① 自然環境保全に係わる自然体験活動及び環境教育活動に関する事業	・環境保全活動	10月7日	沖ノ島	10人	地域住民および来訪者 約140人	7,735
	・沖ノ島自然体験	定期開催	沖ノ島	20人	地域住民および来訪者 約50人	
	・体験学習	主に 4. 5. 6. 10月	沖ノ島	20人	修学旅行・学習旅行の小中高生および団体 約2,900人	
	・サンゴ観察体験(スノーケリング体験)	7. 8月に実施	沖ノ島	20人	地域住民および来訪者 約700人	
	・釣り体験活動による環境事業	通年	館山周辺	20人	地域住民および来訪者 約50人	
	・館山市共催「沖ノ島探検隊」	6月・8月	沖ノ島	10人	地域の子供を中心とした住民 約40人	
	・地域資源を活用したガイドウォーク・自然観察・ビーチコー	2月	館山市香周辺	10人	地域の子供を中心とした住民 4人	
	・人材育成事業	1月	沖ノ島・大房岬・大房岬自	5人	地域住民など10人	
	・環境啓発	通年	地域の書店 観光施設	10人	地域住民、来訪者 不特定多数	
	・地球環境基金事業 南房総館山沖ノ島の海辺を「守り」「伝える」ための仕組みづくりによる環境保全・再生の普及啓発活動と実践活動	通年	館山市 沖ノ島	30人	地域住民、来訪者 不特定多数 ・検討会議開催6回 ・アマモ場再生見学体験70人 ・リーフレット活用枚数 15,000枚 ・アマモ場再生活動延べ365人	